

こんにちは、 日本共産党井上けんじです



日本共産党南地区委員会 ☎ 353-6311 自宅 ☎ (F兼) 691-3323 (携帯) 090-7880-9442
 日本共産党京都市会議員団 ☎ 222-3728 FAX 211-2130
 市会議員団ホームページ <http://cpgkyoto.jp/> E-mail info@cpgkyoto.jp 2022年4月24日



ヘルスピア存続を求める運動広がる

健康増進センター・ヘルスピアの廃止反対、存続を求める運動が急速に広がっています。寄せられている主な声を紹介いたします。

このニュースの3月27日号にて既報の通り、市長が、南区役所東側の「ヘルスピア」(写真左)を来年3月で廃止する、との方針を掲げています。これに反対する運動が広がります。既に複数の市民・団体の皆さんから、井上議員宛て、「存続を」との声が寄せられています。署名運動も始められ、議会への請願書も提出されています。市長は、今年中のいずれかの議会(早ければ来月5月議会)に、「廃止条例案」を提案することですが、①市長に提案させないこと、②提案されても議会で否決すること、が目標です。この一致点を力を合わせ、世論を広げましょう。主なご意見を紹介します。



- ◎いつも楽しみにしている。
- ◎少ない年金の高齢者など、そこらのジムでは高くて行けない。
- ◎市役所で座り込みをしよう。
- ◎精一杯活動したら結果は構わない。
- ◎着物の「モンカワ」を辞めさせる手はないものか。
- ◎市長の給料を減らせ。改革が必要だ。市役所の茶室やレストへの地

- ◎下通路なんかいらない。
- ◎「何らかの部署・機能を残したら廃止も構わない」というご意見もあるようだが、私はそんな中途半端な考え方には賛成できない。
- ◎向日町も伏見のプールもなくなった。
- ◎遠方から来て利用される方もおられる。
- ◎もう署名を八百人分に持つて行く。
- ◎ヘルスピアの職員さんの雇用はどうなっていくのか。
- ◎私は利用していないが、利用者で怒っている友人から「廃止に反対している議員を紹介してくれ」と頼まれた。
- ◎これからのどんな運動をすればいいのか、アドバイスを欲しい。
- ◎廃止されてしまったら、もう井上議員の応援はしない(勿論、全力で頑張りますが、廃止に賛成の議員にこそもっと言って下さい)。

議

会の最も大きな役割は、京都市という自治体の意思を決めることです。市長が提案しても、議会が否決す

本紙先週号で、水道局本庁舎移転の記事中、「新庁舎は、～一定期間、所有も管理も大林組。」と書きましたが、「所有も管理も」の部分の「所有」を削除、「管理は～」に訂正し、お詫び申し上げます。

最近の相談から



れば存続できます。反対する議員が過半数になればいいのです。なお、市民の皆さんから提出された請願を、議会が「採択」の場合、これは市という自治体ではなく「議会」の意思決定で、直ちに市の決定とはなりません。市長に大きな影響を与えることは当然です。

- ◎母親が入院することになったが医療費が心配です。
- ◎単身の弟が入院中。貯金も手持ち金も底をついているようだ。(右の二つは、いずれも、区役所で「限度額認定証」を発行してもらい、病院の窓口に出すこと。市は改悪し

- ◎金減免」制度の申請も可能。年齢や障害者手帳の有無などにより他にも使える制度があります。病院の相談窓口にも相談を。井上議員も各病院とよく連絡を取り合っています。後者の弟さんの場合、親族からの生活保護の代理申請も可能です。
- ◎市営住宅の家賃が高くなった。
- ◎固定資産税が高くなっている。
- ◎要介護4だが、壁のない場所に手すりがない。ケアマネさんからは「もう限度一杯だ」と言われているが。
- ◎事業を立ち上げたいが相談に乗って欲しい。
- ◎残業手当の未払い。



横断歩道の白線がクッキリ改善(山王学区)